

資料編

資料編

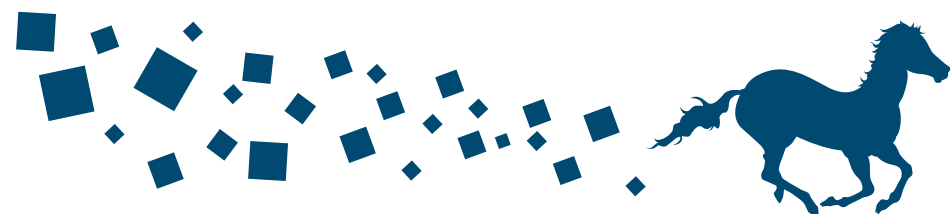
総合計画諮問

総合計画答申

美馬市総合計画審議会委員名簿

総合計画策定に係る市民意識調査の結果（1回目）

総合計画策定に係る市民意識調査の結果（2回目）



総合計画諮問

美企第138号
令和6年5月20日

美馬市総合計画審議会会長 様

美馬市長 加 美 一 成

美馬市総合計画の策定について（諮問）

美馬市総合計画審議会条例第2条の規定により、第3次美馬市総合計画における後期基本計画について、貴審議会の意見を求めます。

総合計画答申

令和7年2月21日

美馬市長 加 美 一 成 様

美馬市総合計画審議会
会長 松 村 豊 大

美馬市総合計画について（答申）

令和6年5月20日付け美企第138号で諮問のありました第3次美馬市総合計画における後期基本計画（案）について、当審議会において慎重に審議を重ねた結果、後期基本計画として別添のとおり答申いたします。

美馬市総合計画審議会委員名簿

(順不同 / 敬称略)

審議会役職	氏名	所属等	備考
会長	松村 豊大	徳島文理大学	
副会長	近藤 明子	四国大学	
委員	青木 茂生	美馬市自治会連絡協議会	令和6年11月26日まで
委員	中川 洋二	美馬市自治会連絡協議会	令和6年11月27日から
委員	森 隼人	美馬青年会議所	
委員	藤田 育美	美馬市連合婦人会	
委員	大垣 賢次郎	美馬市社会福祉協議会	
委員	土井池 弘次	美馬市民生委員児童委員協議会	
委員	佐藤 一樹	美馬市医師会	
委員	秦 健司	美馬市商工会	
委員	前田 実	徳島県農業協同組合	
委員	吉岡 禎	美馬森林組合	
委員	青木 博美	美馬市文化協会	
委員	南 妃佐恵	美馬市人権教育推進協議会	
委員	川窪 憲治	美馬市スポーツ協会	
委員	武田 勝俊	美馬市 PTA 連合会	
委員	丸石 勇	美馬市環境推進市民会議	
委員	山田 一弘	美馬観光ビューロー	
委員	三宅 孝夫	美馬市自主防災組織連絡協議会	
委員	佐藤 昭	美馬市防災士連絡会	

総合計画策定に係る 市民意識調査の結果 [1回目]

1) 調査の目的

令和7年度から始まる「第3次美馬市総合計画後期基本計画」を策定するにあたり、市の施策に対する「現状」を把握し、前期基本計画の進捗を検証することを目的に、市民意識調査を実施しました。

2) 調査の概要

調査期間	令和6年2月～3月19日(火) ※締め切り後一定期間は回収を行いました。
調査方法	郵送配布・回収
調査対象	美馬市に在住する、令和5年4月1日現在で18歳以上の住民2,000人
有効回答者数	1,200人(回収数1,200)
有効回答率	60.0%

3) 留意事項

回答の比率(%)は、小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。したがって、比率の合計に0.1ポイント程度ずれが生じることがあります。

4) 調査結果について

問1. まち全体の印象について

(1) あなたは、美馬市に対して愛着をどの程度感じていますか。

美馬市に対する愛着については、「どちらかというとな愛着を感じている」が最も多く48.3%、次いで「とても愛着を感じている」24.1%となっており、全体の約7割が「愛着を感じている(「とても愛着を感じている」+「どちらかというとな愛着を感じている)」と回答しています。

選択肢	回答数	割合
とても愛着を感じている	289	24.1%
どちらかというとな愛着を感じている	580	48.3%
どちらともいえない	226	18.8%
あまり愛着を感じていない	72	6.0%
愛着を感じていない	31	2.6%
無回答・不明	2	0.2%
合計	1,200	100.0%

(2) あなたは、これからも美馬市に住み続けたいですか。

美馬市に住み続けたいかについては、「これからもずっと住み続けたい」が最も高く58.1%となっています。

選択肢	回答数	割合
これからもずっと住み続けたい	697	58.1%
当分は住み続けたい	324	27.0%
どちらともいえない	165	13.8%
無回答・不明	14	1.2%
合計	1,200	100.0%

問2. 福祉・健康・医療などに関する分野について

- (1) あなたは、ボランティアの育成や社会福祉協議会の活動など、地域で支え合い、地域で安心して暮らせるための地域福祉が充実していると感じますか。

「どちらともいえない」の割合が最も高く36.3%、次いで「どちらかというと感じている」が27.3%となっています。

選択肢	回答数	割合
とても感じている	64	5.3%
どちらかというと感じている	328	27.3%
どちらともいえない	435	36.3%
あまり感じていない	273	22.8%
感じていない	94	7.8%
無回答・不明	6	0.5%
合計	1,200	100.0%

問3. 文化芸術・スポーツに関する分野について

- (1) あなたは、美馬市には文化芸術に触れ親しむ環境が整っていると感じますか。

「どちらともいえない」の割合が最も高く34.0%、次いで「どちらかというと感じている」が27.8%となっています。

選択肢	回答数	割合
とても感じている	47	3.9%
どちらかというと感じている	334	27.8%
どちらともいえない	408	34.0%
あまり感じていない	300	25.0%
感じていない	108	9.0%
無回答・不明	3	0.3%
合計	1,200	100.0%

- (2) あなたは、スポーツやレクリエーション活動など、体を動かす運動をどれくらいの頻度で行っていますか。

「ほとんどしていない」の割合が最も高く63.7%、次いで「週2日以上している」が19.1%となっています。

選択肢	回答数	割合
週2日以上している	229	19.1%
週1日はしている	204	17.0%
ほとんどしていない	764	63.7%
無回答・不明	3	0.3%
合計	1,200	100.0%

問4. 防災・消費生活・社会基盤に関する分野について

- (1) あなたは自宅で災害に備え、食料の備蓄や家具への転倒防止器具取り付けなどの防災・減災対策を行っていますか。

「行っていない」が59.0%、「行っている」の割合が40.6%となっています。

選択肢	回答数	割合
行っている	487	40.6%
行っていない	708	59.0%
無回答・不明	5	0.4%
合計	1,200	100.0%

- (2) あなたは、商品サービスに関するトラブルや架空請求詐欺などに対する相談受付や、啓発活動などを行っている「美馬地区消費生活センター」を知っていますか。

「名前もその役割も知らない」の割合が最も高く39.8%、次いで「名前は聞いたことがあるが、役割は知らない」が38.8%となっています。

選択肢	回答数	割合
美馬地区消費生活センターという名前もその役割も知っている	246	20.5%
美馬地区消費生活センターという名前は聞いたことがあるが、役割は知らない	466	38.8%
美馬地区消費生活センターという名前もその役割も知らない	477	39.8%
無回答・不明	11	0.9%
合計	1,200	100.0%

- (3) あなたは、美馬市の公園・緑地（新町公園や穴吹ふれあい広場等）を快適に利用出来ていると感じますか。

「あまり感じていない」の割合が最も高く28.9%、次いで「どちらともいえない」が25.9%となっています。

選択肢	回答数	割合
とても感じている	59	4.9%
どちらかというと感じている	253	21.1%
どちらともいえない	311	25.9%
あまり感じていない	347	28.9%
感じていない	221	18.4%
無回答・不明	9	0.8%
合計	1,200	100.0%

- (4) あなたは、お住まいの地域において利便性が良い（日常生活用品が近くで買える、役所など公共施設が利用しやすい、交通網が充実している等）と感じますか。

「どちらかというと感じている」の割合が最も高く28.9%、次いで「あまり感じていない」が23.3%となっています。

選択肢	回答数	割合
とても感じている	103	8.6%
どちらかというと感じている	347	28.9%
どちらともいえない	227	18.9%
あまり感じていない	280	23.3%
感じていない	236	19.7%
無回答・不明	7	0.6%
合計	1,200	100.0%

問5. 自然・環境保全に関する分野について

- (1) あなたは、美馬市には豊かな自然が残っていると感じていますか。

「どちらかというと感じている」の割合が最も高く34.6%、次いで「どちらともいえない」が31.5%となっています。

選択肢	回答数	割合
とても感じている	127	10.6%
どちらかというと感じている	415	34.6%
どちらともいえない	378	31.5%
あまり感じていない	182	15.2%
感じていない	89	7.4%
無回答・不明	9	0.8%
合計	1,200	100.0%

(2) あなたは、環境保全に関する次の条例を知っていますか。

●ごみの不法投棄や飼い主のふん害を禁止する
「美馬市の環境美化の推進に関する条例」

●うだつの町並みや寺町周辺の路上喫煙を禁止する
「美馬市路上喫煙の防止に関する条例」

「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」の割合が最も高く39.3%、次いで「名前もその内容も知らない」が36.7%となっています。

選択肢	回答数	割合
それぞれの条例の名前とその内容も知っている	279	23.3%
それぞれの条例の名前は聞いたことがあるが、内容は知らない	472	39.3%
それぞれの条例の名前もその内容も知らない	440	36.7%
無回答・不明	9	0.8%
合計	1,200	100.0%

問6. 市民参画・広報・国際交流に関する分野について

(1) あなたは、各種計画策定に向けた市民ワークショップの開催やパブリックコメントの実施等、市民参画の機会が充実していると感じますか。

「どちらともいえない」の割合が最も高く40.7%、次いで「あまり感じていない」が24.2%となっています。

選択肢	回答数	割合
とても感じている	44	3.7%
どちらかというと感じている	211	17.6%
どちらともいえない	488	40.7%
あまり感じていない	290	24.2%
感じていない	154	12.8%
無回答・不明	13	1.1%
合計	1,200	100.0%

(2) あなたは、毎月1回、市からの行政情報やイベント情報などを周知するために発行している「広報みま」を読んでいますか。

「毎号読んでいる」の割合が最も高く45.1%、次いで「ほぼ毎号読んでいる」が20.8%となっています。

選択肢	回答数	割合
毎号読んでいる	541	45.1%
ほぼ毎号読んでいる (年8回～11回)	250	20.8%
時々読んでいる (年4回～7回)	195	16.3%
あまり読んでいない (年1回～3回)	107	8.9%
読んでいない	99	8.3%
無回答・不明	8	0.7%
合計	1,200	100.0%

(3) あなたは国際交流員による外国語講座の開催や、観光地における看板の多言語表記等、市の国際化に向けた取組を知っていますか。

「ほとんど知らない」の割合が最も高く72.4%、次いで「少し知っている」が23.1%となっています。

選択肢	回答数	割合
知っている	46	3.8%
少し知っている	277	23.1%
ほとんど知らない	869	72.4%
無回答・不明	8	0.7%
合計	1,200	100.0%

5) 自由回答

自由回答については、産業交流、社会基盤、市政全般など、さまざまな分野に対する意見が多数寄せられています。

自由回答のとりまとめ方法

自由回答については、内容を確認した上で、8つの政策分野に分類して集計しました。分類できない意見は、「その他」として分類しました。また、一つの意見が複数の項目に関連している場合は、関連するすべての項目に振り分けて集計しました。記載内容の大まかな分類と件数は以下のとおりです。

自由回答について

- ・自由回答の回答数：319 件（有効回答数の 26.6%）
- ・要素ごとに分解された意見数：346 件

●自由回答 政策分野別分類

政策分野別に見ると、「社会基盤」が最も多く、全体の 20.2%を占めており、次いで、「市政全般」「子育て・教育・文化」に関する意見が多くなっています。

分野	回答数	割合
子育て・教育・文化	52	15.0%
福祉・健康・医療	20	5.8%
市民生活・環境	50	14.5%
社会基盤	70	20.2%
産業・交流	44	12.7%
広報・DX	26	7.5%
市政全般	67	19.4%
その他	17	4.9%
合計	346	100.0%

6) 回答者の属性について

問 8. 回答者の属性について

(1) 性別

アンケート回答者の性別は、「男性」が 41.6%、「女性」が 55.6%となっています。総人口比でも女性の方が若干多くなっていますが、より女性の方が多く結果となっています。

選択肢	回答数	割合
男性	499	41.6%
女性	667	55.6%
その他	2	0.2%
無回答・不明	32	2.7%
合計	1,200	100.0%

(2) 年齢

アンケート回答者の年齢は、「20歳未満」と「20～29歳」を合わせて6.5%、「30～39歳」が7.9%、「40～49歳」が14.3%、「50歳～59歳」が15.4%、「60歳～69歳」が21.7%、「70歳以上」が31.7%となっています。年齢が高くなるほど割合が高くなっています。

選択肢	回答数	割合
20歳未満	14	1.2%
20～29歳	64	5.3%
30～39歳	95	7.9%
40～49歳	171	14.3%
50～59歳	185	15.4%
60～69歳	260	21.7%
70歳以上	380	31.7%
無回答・不明	31	2.6%
合計	1,200	100.0%

(3) 職業

アンケート回答者の職業は、「無職」が最も多く32.9%、次いで「会社員・公務員・団体職員」が28.3%、「パート・アルバイト」が10.9%、「自営業」が8.5%、「家事従事者」が6.7%、「農林水産業」が2.8%、「その他」が2.7%、「学生」が2.6%、「派遣・契約社員」が2.0%となっています。

選択肢	回答数	割合
農林水産業	33	2.8%
自営業	102	8.5%
会社員・公務員・団体職員	339	28.3%
家事従事者	80	6.7%
学生	31	2.6%
パート・アルバイト	131	10.9%
派遣・契約職員	24	2.0%
無職	395	32.9%
その他	32	2.7%
無回答・不明	33	2.8%
合計	1,200	100.0%

(4) 居住地域

アンケート回答者の居住地域は、「脇町」が最も多く51.5%、次いで「美馬町」が24.3%、「穴吹町」が20.5%、「木屋平」が0.9%となっています。

選択肢	回答数	割合
脇町	618	51.5%
美馬町	291	24.3%
穴吹町	246	20.5%
木屋平	11	0.9%
無回答・不明	34	2.8%
合計	1,200	100.0%

(5) 美馬市での居住年数

アンケート回答者の居住期間は、「20年以上」が最も多く80.6%、次いで「10年以上20年未満」が9.9%、「6年以上10年未満」が2.3%、「3年以上6年未満」が2.1%、「1年以上3年未満」が1.9%、「1年未満」が0.3%となっています。

選択肢	回答数	割合
1年未満	3	0.3%
1年以上3年未満	23	1.9%
3年以上6年未満	25	2.1%
6年以上10年未満	28	2.3%
10年以上20年未満	119	9.9%
20年以上	967	80.6%
無回答・不明	35	2.9%
合計	1,200	100.0%

総合計画策定に係る 市民意識調査の結果 [2 回目]

1) 調査の目的

令和7年度から始まる「第3次美馬市総合計画後期基本計画」を策定するにあたり、市の施策に対する「現状」を把握し、後期基本計画の目標を設定することを目的に、市民意識調査を実施しました。

2) 調査の概要

調査期間	令和6年9月～10月18日(金) ※締め切り後一定期間は回収を行いました。
調査方法	郵送配布、郵送またはオンライン回答
調査対象	美馬市に在住する、令和6年4月1日現在で18歳以上の市民2,000人
有効回答者数	1,112人 郵送：915人(82.3%) オンライン：197人(17.7%)
有効回答率	55.6%

3) 留意事項

回答の比率(%)は、小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。このため、比率の合計に0.1ポイント程度ずれが生じることがあります。

4) 回答者の属性について

問7. 回答者の属性について

(1) 性別

「男性」が42.7%、「女性」が55.7%、「その他」が0.1%、「無回答」が0.4%でした。本市の人口構成においても女性の割合がやや高いですが、今回の調査では人口比よりもさらに女性の回答割合が高い結果となりました。

選択肢	回答数	割合
男性	475	42.7%
女性	619	55.7%
その他	1	0.1%
答えたくない	13	1.2%
無回答	4	0.4%
合計	1,112	100.0%

(2) 年齢

「18～29歳」5.4%、「30～39歳」8.9%、「40～49歳」12.3%、「50～64歳」23.7%、「65～74歳」26.3%、「75歳以上」22.8%でした。本市の人口比と概ね一致していますが、年齢が若くなるほど割合が低くなっており、特に「18～29歳」の割合が低い結果となりました。

選択肢	回答数	割合
18～29歳	60	5.4%
30～39歳	99	8.9%
40～49歳	137	12.3%
50～64歳	264	23.7%
65～74歳	292	26.3%
75歳以上	254	22.8%
無回答	6	0.5%
合計	1,112	100.0%

(3) 回答方法の比率と年代別の内訳

回答方法別の割合は、オンライン回答が全体の17.7%、郵送回答が82.3%でした。

年代別に見ると、「18～29歳」ではオンライン回答と郵送回答がほぼ半数ずつとなっていますが、年齢が上がるにつれて郵送回答の割合が増える傾向となっています。特に、65歳以上では郵送回答が圧倒的に多く、オンライン回答をした方の割合は約5%にとどまっています。

各年代の中央値を用いて平均年齢を推定したところ、全体では60.3歳、オンライン回答は47.1歳、郵送回答は63.2歳となり、オンライン回答者の平均年齢は郵送回答より16.1歳若い結果となりました。また、問4(3)のスマホの操作に関する設問では、オンライン回答と郵送回答による傾向の差が顕著に見られる結果となっています。

<回答方法別割合>

選択肢	回答数	割合
オンライン	197	17.7%
郵送	915	82.3%
合計	1,112	100.0%

<年代別・回答方法別の回答数>

年齢区分	オンライン	郵送	合計
18-29歳	28	32	60
30-39歳	40	59	99
40-49歳	44	93	137
50-64歳	58	206	264
65-74歳	18	274	292
75歳 -	9	245	254

問1. 人権に関する分野

- (1) あなたは、普段の生活において、年齢や性別、国籍の違い、障がいの有無などで差別がなく、基本的人権が尊重されていると感じますか？

肯定的な回答（「とても感じている」、「どちらかと言えば感じている」）が全体の44.6%、「どちらともいえない」が32.1%、否定的な回答（「あまり感じていない」、「感じていない」）が22.8%でした。肯定的な回答は否定的な回答の2倍ほどありましたが、3人に1人が「どちらともいえない」と回答しています。

選択肢	回答数	割合
とても感じている	98	8.8%
どちらかというと感じている	398	35.8%
どちらともいえない	357	32.1%
あまり感じていない	182	16.4%
感じていない	71	6.4%
無回答	6	0.5%
合計	1,112	100.0%

問2. 福祉・健康・子育てに関する分野について

- (1) あなたは、生活困窮などの困りごとを抱えたとき、市や社会福祉協議会に相談できることを知っていますか？

「知っている」70.1%、「知らない」29.7%でした。多くの人は困り事の相談先を「知っている」と回答していますが、約3割は「知らない」と回答しています。

選択肢	回答数	割合
知っている	780	70.1%
知らない	330	29.7%
無回答	2	0.2%
合計	1,112	100.0%

- (2) あなたは、自身の健康に関心があり、食事や運動など生活習慣の改善に取り組んでいますか？

「取り組んでいる」41.8%、「関心はあるが、取り組めていない」50.8%、「取り組んでいない」7.3%でした。全体の92.6%は健康に関心がある一方、5割は実際には取り組めていないという結果でした。

選択肢	回答数	割合
取り組んでいる	465	41.8%
関心はあるが、取り組めていない	565	50.8%
取り組んでいない	81	7.3%
無回答	1	0.1%
合計	1,112	100.0%

(3) あなたは、ご自身の健康状態について、どの程度健康だと感じていますか？

自身が健康だと感じている回答（「とても健康だと感じる」、「どちらかという健康だと感じている」）は全体の53%、健康に不安がある回答（「あまり健康だと感じていない」、「全く健康だと感じていない」）は28.6%でした。約半数の人は、健康だと感じていますが、健康に不安がある人も3割近くいるという結果でした。

選択肢	回答数	割合
とても健康だと感じている	54	4.9%
どちらかという健康だと感じている	535	48.1%
どちらともいえない	204	18.3%
あまり健康だと感じていない	267	24.0%
全く健康だと感じていない	51	4.6%
無回答	1	0.1%
合計	1,112	100.0%

(4) あなたは、必要な介護サービスを、必要な時に利用できていると感じていますか？

全体での集計結果を見た場合、肯定的な回答は26.3%、「どちらともいえない」は38.1%、否定的な回答は34.6%でした。否定的な回答が、肯定的な回答を上回っていました。介護サービスを利用しない年代も含めてアンケートしたため、中立的な回答である「どちらともいえない」が一番多い結果となったと推測できます。

<全体>

選択肢	回答数	割合
とても感じている	49	4.4%
どちらかという感じている	244	21.9%
どちらともいえない	424	38.1%
あまり感じていない	220	19.8%
感じていない	165	14.8%
無回答	10	0.9%
合計	1,112	100.0%

(4) あなたは、必要な介護サービスを、必要な時に利用できていると感じていますか？

介護サービスの対象となる65歳以上に限定して集計した場合は、肯定的な回答の割合は36.6%、「どちらともいえない」は30.6%、否定的な回答は31.7%でした。実際に介護サービスを利用している人が多く含まれる年齢層の満足度は、全体と比較してやや高い傾向にありました。

<65歳以上抽出>

選択肢	回答数	割合
とても感じている	35	6.4%
どちらかという感じている	165	30.2%
どちらともいえない	167	30.6%
あまり感じていない	108	19.8%
感じていない	65	11.9%
無回答	6	1.1%
合計	546	100.0%

(5) あなたは、子どもたちの成長を地域ぐるみで支援できていると感じますか？

肯定的な回答は24.3%、「どちらともいえない」は37.7%、否定的な回答は37.0%でした。肯定的な意見を回答した人より、「どちらともいえない」や否定的な回答をした人の方が多い結果となりました。

選択肢	回答数	割合
とても感じている	27	2.4%
どちらかという感じている	244	21.9%
どちらともいえない	419	37.7%
あまり感じていない	281	25.3%
感じていない	130	11.7%
無回答	11	1.0%
合計	1,112	100.0%

問3 スポーツ・生涯学習に関する分野について

(1) あなたは、健康や体力保持のための施設（体育館など）や環境が整っていると感じますか？

肯定的な回答は 26.9%、「どちらともいえない」は 29.1%、否定的な回答は 43.4%でした。否定的な回答が、肯定的な回答より 15 ポイント以上高い結果となっており、運動できる施設や環境の整備に対するニーズが高いことがうかがえます。

選択肢	回答数	割合
とても感じている	32	2.9%
どちらかというと感じている	267	24.0%
どちらともいえない	324	29.1%
あまり感じていない	329	29.6%
感じていない	153	13.8%
無回答	7	0.6%
合計	1,112	100.0%

(2) あなたは、生涯学習（自らすすんで行う、地域社会や職場、趣味などでの学習）や集い、交流する機会が充実していると感じますか？

肯定的な回答（「とても感じている」「どちらかというと感じている」）は 23.0%、「どちらともいえない」は 34.5%、否定的な回答（「あまり感じていない」「感じていない」）は 44.4%でした。否定的な回答が、肯定的な回答の 2 倍近くあるという結果になりました。

<全体>

選択肢	回答数	割合
とても感じている	32	2.9%
どちらかというと感じている	223	20.1%
どちらともいえない	384	34.5%
あまり感じていない	313	28.1%
感じていない	148	13.3%
無回答	12	1.1%
合計	1,112	100.0%

(2) あなたは、生涯学習（自らすすんで行う、地域社会や職場、趣味などでの学習）や集い、交流する機会が充実していると感じますか？

65 歳以上を抽出した結果も肯定的な回答が 27.3%、「どちらともいえない」が 33.0%、否定的な回答が 38.5%でした。全体と比較して若干肯定的な回答が多くなりますが、ほぼ同様の傾向を示す結果となりました。

<65 歳以上抽出>

選択肢	回答数	割合
とても感じている	13	2.4%
どちらかというと感じている	136	24.9%
どちらともいえない	180	33.0%
あまり感じていない	143	26.2%
感じていない	67	12.3%
無回答	7	1.3%
合計	546	100.0%

問4 水道インフラ・デジタルの活用に関する分野について

- (1) あなたは、普段使っている水道水が安定して供給され、安心して使うことができると感じますか？

肯定的な回答は 83.2%、「どちらともいえない」は 8.4%、否定的な回答は 8.1%でした。
多くの方が、本市の水道水を安心して利用できていることがうかがえます。

選択肢	回答数	割合
とても感じている	425	38.2%
どちらかというと感じている	500	45.0%
どちらともいえない	93	8.4%
あまり感じていない	41	3.7%
感じていない	49	4.4%
無回答	4	0.4%
合 計	1,112	100.0%

- (2) あなたは、スマート申請システムや「ぴったりサービス」などを使って、転入・転出など、様々な行政手続きをオンラインでできることを知っていますか？

「知っている」と回答した人は 29.1%、「知らない」と回答した人は 70.5%でした。約 7 割の人が知らないと答えており、行政のデジタルサービスに対する認知度が低いことを示しています。

選択肢	回答数	割合
知っている	324	29.1%
知らない	784	70.5%
無回答	4	0.4%
合計	1,112	100.0%

- (3) あなたは、スマホを使って、市公式LINEやホームページなどから、市が発信する情報を入手することができますか？

「できる」と回答した人は 41.2%、「できない」と回答した割合も 41.1%でした。スマホを使って情報にアクセスできるかどうかは、市民の間でも大きく分かれていることがわかります。また 17.4%の人は「わからない」と回答していました。

選択肢	回答数	割合
できる	458	41.2%
できない	457	41.1%
わからない	193	17.4%
無回答	4	0.4%
合 計	1,112	100.0%

回答方法別に集計した結果、オンライン回答者のうち「できる」と回答した人は 72%だったのに対し、郵送回答者で「できる」と回答した人は 35%と、オンライン回答者の半数程度にとどまりました。この結果から、スマホ等の操作に慣れている層がオンライン回答を選択する傾向があると推測されます。

問5 市民参画・自治体間交流に関する分野について

- (1) あなたは、直近 1 年間において、自治会の活動やボランティア活動などのまちづくり活動に参加したことがありますか？

「参加したことがある」と回答した人は 45.7%、「参加したことがない」と回答した人は 50.3%でした。半数の人は自治会などの地域活動に関わっていないことがうかがえます。

選択肢	回答数	割合
参加したことがある	508	45.7%
参加したことがない	559	50.3%
わからない	38	3.4%
無回答	7	0.6%
合 計	1,112	100.0%

(2) あなたは、地域交流センター「ミライズ」が、市民が地域内外の方々との交流を促進することに貢献していると感じますか？

肯定的な回答は 42.8%、「どちらともいえない」は 31.5%、否定的な回答は 25.2%でした。

肯定的な回答が否定的な回答を上回っており、今後もミライズマルシェやホールでのイベントなど施設の積極的な利活用が望まれます。

選択肢	回答数	割合
とても感じている	77	6.9%
どちらかというと感じている	399	35.9%
どちらともいえない	350	31.5%
あまり感じていない	157	14.1%
感じていない	123	11.1%
無回答	6	0.5%
合計	1,112	100.0%

(3) 兵庫県洲本市、北海道新ひだか町と美馬市は、稲田氏ゆかりの地として姉妹都市提携を結んでいます。また中国雲南省大理市とはうだつの町並みと似た風景があることをきっかけに友好都市協定を締結しています。あなたは、これら友好・姉妹都市について親近感があると感じますか？

肯定的な回答は 10.7%、「どちらともいえない」は 22.7%、否定的な回答は 61.1%でした。親近感を感じるという肯定的な回答は 1 割程度であり、現状市民の多くは、姉妹都市、友好都市のことを知らない、または関心が低いことが推測できます。

選択肢	回答数	割合
とても感じている	18	1.6%
どちらかというと感じている	101	9.1%
どちらともいえない	252	22.7%
あまり感じていない	340	30.6%
感じていない	395	35.5%
無回答	6	0.5%
合計	1,112	100.0%

問6 まち全体の印象について

(1) 美馬市では、将来像を「美しく駆ける 活躍都市 美馬」として、誰もが健康で、活躍でき、地域の歴史や文化、自然に誇りを持ち、いつまでも住み続けたいまちを目指して、各施策に取り組んでいます。これら市の取り組みについて、どの程度満足していますか？

肯定的な回答は 23.6%、「どちらともいえない」は 43.3%、否定的な意見は 32.6%でした。肯定的な回答より否定的な回答の方が多く、また 4 割を超える人が「よくわからない」と回答しています。

選択肢	回答数	割合
満足している	51	4.6%
どちらかという満足している	211	19.0%
どちらともいえない	482	43.3%
あまり満足していない	234	21.0%
満足していない	129	11.6%
無回答	5	0.4%
合計	1,112	100.0%

**第 3 次美馬市総合計画
後期基本計画**

発行：令和 7 年 3 月

美馬市役所

〒 777-8577

徳島県美馬市穴吹町穴吹字九反地 5 番地

TEL：0883-52-1212（代表）

FAX：0883-53-9919

ホームページ：<https://www.city.mima.lg.jp>

